

福祉環境委員会 実地視察報告

令和3年7月9日、総合福祉センター及び港島クリーンセンターを視察いたしました。

総合福祉センターは、「市民の福祉の増進」と「文化教養の向上」を目的として設置されており、平成29年のリニューアルに際しては、神戸市の行政機関である「障害者福祉センター」、「発達障害者支援センター」、「精神保健福祉センター」の3つを集約し、3階を障害者支援フロアとして位置づけました。

また、1階には、新たな社会課題に対応するべく、令和2年2月に「神戸ひきこもり支援室」、令和3年6月に「こども・若者ケアラー相談・支援窓口」が開設されており、今回の視察ではこれら2つの取組について重点的に説明を受けました。



港島クリーンセンターは、平成29年4月に供用を開始した最新鋭のクリーンセンターで、1日当たり200トンを燃やすことができる焼却炉を3基備え、1日当たり最大600トンのごみを焼却することができます。また、併設施設として1日10トンの処理能力を持つ木質系ごみの破砕機を2基と、缶びんペットの中継設備も設置されています。

さらに、高効率ごみ発電を採用しており、地域に環境価値の高い良質な電力を供給しているほか、高い防災性能を備えており、地域停電時には電力供給ステーションとしても活用されるなど、単なるごみ処理センターではなく、地域エネルギーセンターといえる役割を果たしています。

